

公共施設の再配置に関する市民アンケート

市民の皆様には、日頃から市政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

本市では、これまで、経済発展や人口増加を背景に、多くの公共施設を整備してきましたが、いずれの施設も老朽化が進み、大規模な修繕や建替えが必要な状況にあります。また、人口減少・少子高齢化といった人口構成の変化や公共施設に対する市民ニーズの変化など公共施設を取り巻く状況も大きく変化していることから今後の公共施設のあり方について検討することが喫緊の課題となっています。現在、今後の公共施設の適正な管理運営に向けて、各種取組みを進めておりますが、まちの将来像を見据えた「公共施設の再配置」を検討するうえで、市民の皆さまのお考えをお聞きしたいと思っております。お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年4月

大阪狭山市長 古川 照人



◆インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます。

- ・左記のQRコードから回答フォームにアクセスできます。
- ・インターネットで回答された方は、書類での回答は不要です。

◆記入にあたってのお願い

・本資料は、本市のまちづくりの考え方や、公共施設マネジメントに関するこれまでの取組について紹介しています。まず、本資料をご覧いただいてから別冊の「アンケート調査票」へのご回答をお願いいたします。

◆調査対象・期間

調査は、施設を利用されている方を対象に、4月1日（月）から4月22日（月）までの間、施設の窓口等で配布・回収しているものです。なお、同時期に、市民3,000人を無作為に抽出し、郵送でもアンケート調査を実施しております。（回答は一人一回限りとしてください）

調査は無記名でご回答いただき、その結果は統計的に処理して利用させていただきます。

また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

◆アンケートの回収について

まことに勝手ながら集計の都合上、別冊のアンケート調査票に回答をご記入の上、

4月22日（月）までに、Logoフォームから回答（又は、資産活用・契約グループへ直接、FAX、配布している施設窓口へ提出でも可能）してください。

◆アンケートに関する問い合わせ先

大阪狭山市 総務部 資産活用・契約グループ（担当：那谷、高木）

電話：072-366-0011（代表） FAX：072-367-1254

Eメール：kanzai@city.osakasayama.osaka.jp



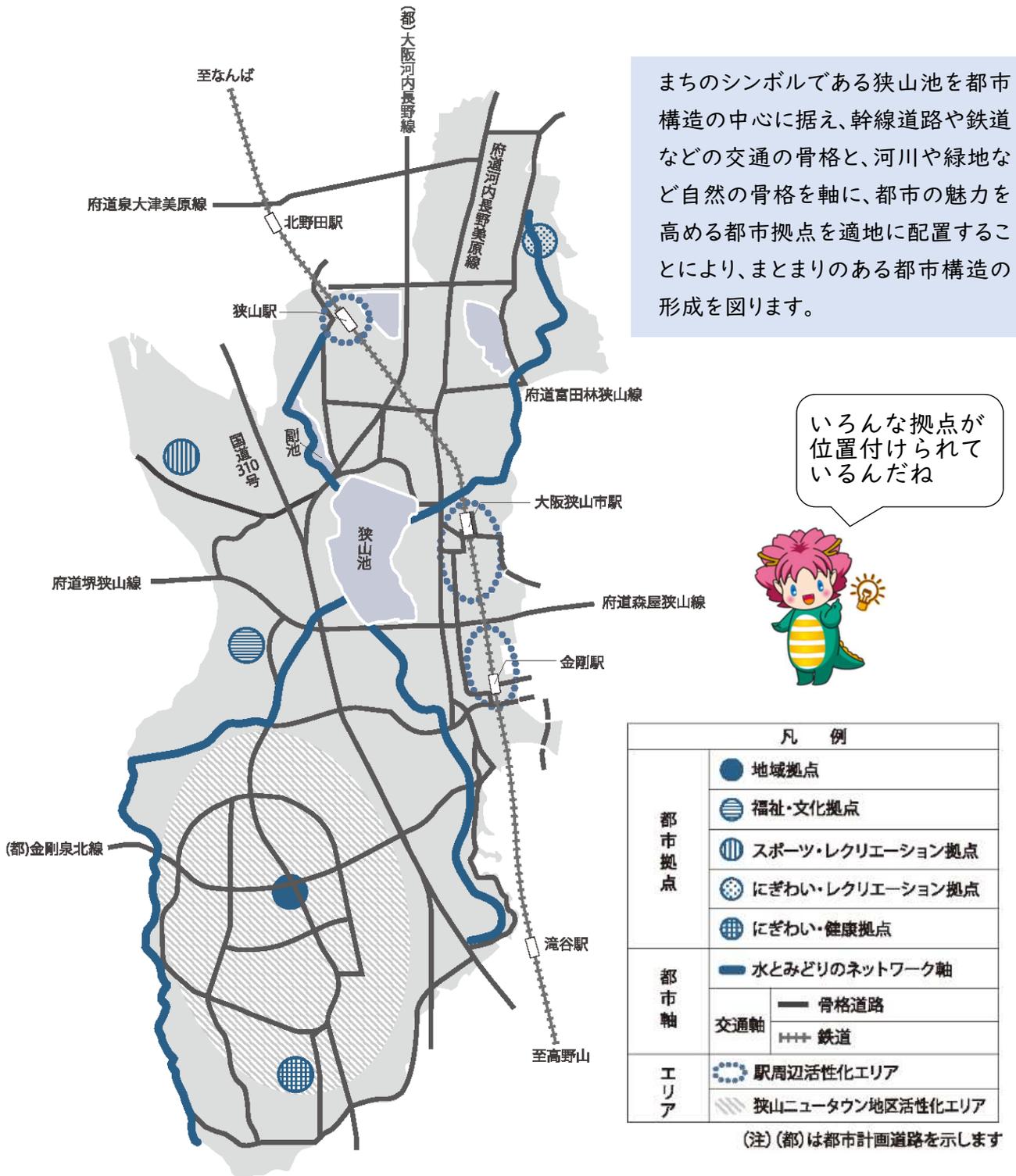
本アンケートでいただいたご意見は、2024年9月に策定予定の「公共施設再配置計画」に反映させていく予定です。

なお、具体的な建設位置や事業手法、複合化する機能の詳細や規模などは、再配置計画策定後に予定していますそれぞれの施設の「基本構想」等の策定段階において検討してまいります。

本市のまちづくりの方向性(将来都市構造)について

公共施設は、行政サービスの拠点としてだけではなく、まちの賑わいや交流を促し、市民活動を支える拠点といった機能も有しています。現在の公共施設は建てられてから数十年が経過しており、まちの姿も市民のニーズも建設当時とは大きく変化しているため、建替えを計画する時には、将来のまちづくりを見据えた配置の検討が必要です。

本市の最上位計画である第五次総合計画^{※1}では、将来の都市構造について、以下のように示しています。 ※1 計画期間：令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）



○本市の将来都市像（大阪狭山市第五次総合計画 都市構造図）

公共施設をとりまく状況などについて

○ 人口の見通し

本市の人口は、今後緩やかに減少に転じ、少子高齢化が一段と進むと予想されています。また、生活様式の多様化などにより公共施設に対するニーズも変化していくことが考えられます。

○ 公共施設の老朽化

公共施設の多くが高度経済成長期に整備され、老朽化により今後、更新時期が集中することが考えられます。大阪狭山市公共施設等総合管理計画では、公共施設を現状のまま維持した場合、今後 40 年間の修繕・改修・更新費用として年平均約 14.2億円（長寿命化の対策を実施した場合は、12.7 億円）必要になると見込んでいます。



公共施設をとりまく状況が大きく変化しているから、公共施設のあり方を検討することが課題になっているんだ

これらの課題に対応するため、本市では、「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」や「大阪狭山市公共施設再配置方針」を策定し、公共施設マネジメントの理念や数値目標を以下のように挙げています。

公共施設マネジメントの理念

- ・人口構成やニーズの変化に対応した機能の提供
- ・効率的・効果的な行政サービスの提供
- ・予防保全による長寿命化と総量縮減による更新費用等の抑制

数値目標

公共施設総延床面積
約10%削減

理念や数値目標などを踏まえ、施設や機能（公共サービス）の提供が将来も持続可能となるよう中長期的な視点から公共施設の再配置の取り組みを進めています。

再配置に対する主な市民意見について（令和4年度市民アンケート結果より）

令和4年度に実施した市民アンケート※1で、公共施設の再配置にあたって、「どのような施設から再配置を検討すべきか」、「今後施設を適切に維持管理していくために積極的に実施すべき手法」について伺ったところ、次の意見が多く見られました。

※市民アンケート：無作為抽出した16歳以上の市民3000人が対象。有効回収率は37.0%

質問

どのような施設から再配置を検討すべき？

積極的に実施していく手法は？

多く見られた意見

○あまり利用されていない施設
○老朽化が著しい施設

○複合化により機能集約を行う
○利用されていない施設や土地から収入を得る



再配置の方向性及び優先度について（大阪狭山市公共施設再配置方針より）

令和4年度に実施した市民アンケート結果も考慮し、策定した大阪狭山市公共施設再配置方針（令和4年度策定）では、公共施設の再配置を検討するにあたり、「建物の安全性」を最も重要な要素とした上で、「機能（公共サービス）の必要性や規模の適正化」、「施設と機能の同調性」、「利用状況やコスト状況」などの視点から、各施設が短期（当面10年間）で取り組むべき内容を整理しています。



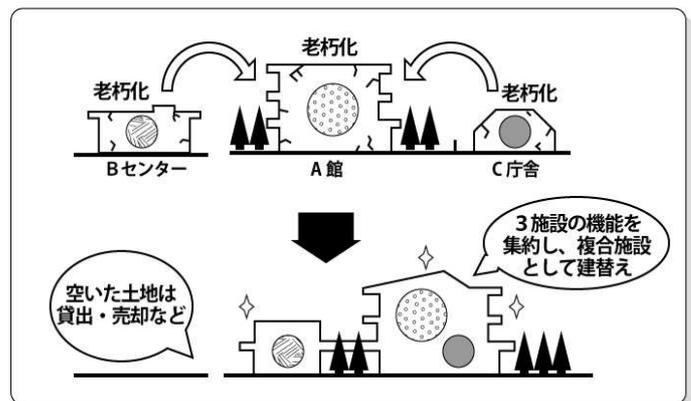
短期での取組内容	該当する施設名称
当面維持 (14施設)	市役所(本庁舎)、消防署、総合体育館、文化会館、池尻体育館、消防署ニュータウン出張所、さやか公園防災備蓄倉庫、東大池公園防災備蓄倉庫、学校給食センター、教育支援センター、斎場、野球場、市民総合グラウンド/山本テニスコート、子育て支援・世代間交流センター(UPっぶ)
短期で再配置を想定する施設 (11施設)	庁舎南館、図書館・公民館、心身障害者福祉センター及び母子父子福祉センター、保健センター、コミュニティセンター(ニュータウン連絡所含む)、社会教育センター、市史編さん所、子育て支援センター(ぼっぼえん)、障害者地域活動支援センター
当面維持 (中長期で再配置を想定する施設) (8施設)	東放課後児童会、北放課後児童会、第七放課後児童会、旧くみの木幼稚園、牛乳パック整理作業所、社会教育グループ倉庫、第三青少年運動広場/大野テニスコート、シルバー人材センター
譲渡・廃止 (1施設)	西池尻連絡所
引き続き検討 (5施設)	ふれあいスポーツ広場、旧狭山・美原医療保健センター(休日診療所)、市民ふれあいの里(花と緑の広場、スポーツ広場、青少年野外活動広場)

課題解決に向けた取り組みについて（施設の複合化の推進）

課題解決に向けた取り組みの一つとして、施設の「複合化」が挙げられ、例えば以下のようなメリットが考えられます。

- ① 1箇所で複数のサービスが受けられる
- ② 利用者同士の交流やにぎわいが生まれる
- ③ 建物をコンパクトにできる
- ④ 地域の拠点として安全・安心の提供
- ⑤ 跡地等の活用で新たな価値を創造
- ⑥ 公民の連携がとりやすい

建替えに合わせて複合化（機能集約）するイメージ



大阪狭山市の取り組みのご紹介

公共施設に関する計画等の策定について、現在の取り組み（公共施設再配置計画策定委員会）の状況等をホームページでご覧いただけます。

大阪狭山市公共施設等
総合管理計画



（策定済）

大阪狭山市公共施設
再配置方針



（策定済）

大阪狭山市公共施設
再配置計画策定委員会



（策定に向けて検討中）



これまでの取り組みの内容や、現在の状況等の詳細は、
上のQRコードを読み込めばホームページにアクセスできるよ

現在、策定に向け検討作業中の関連計画・方針等

大阪狭山市立地適正化計画

「コンパクトシティ+ネットワーク」の視点から、市全体の居住を含めた都市機能の誘導と拠点形成、公共交通ネットワーク形成等に関する計画です。計画策定（令和6年12月予定）に向け、現時点の骨子案に対する市民意見を募集しています。



（募集期間：令和6年4月1日～22日まで）

大阪狭山市立学校園の適正規模・
適正配置に関する実施方針

子どもたちにとって望ましい教育・保育環境の実現に向け、具体的な対策や方向性について示した方針です。方針策定（令和6年7月予定）に向け、現時点の素案に対する市民意見を募集しています。



（募集期間：令和6年4月1日～22日まで）

※詳しくは市HPまたは上記QRコードをご覧ください。

他都市での公共施設複合化の事例紹介（東京都武蔵野市）

●ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス（平成23年7月9日開館）



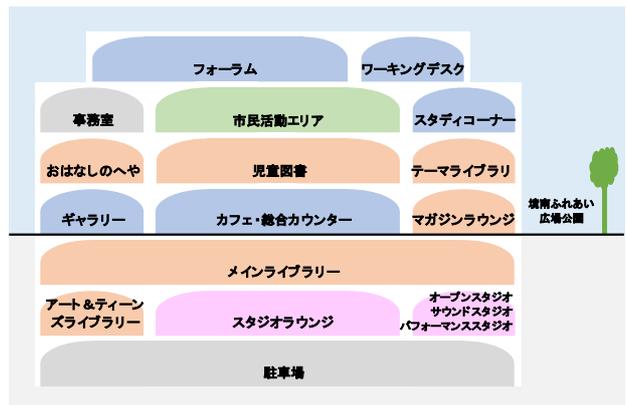
外観



青少年向けラウンジ

・まちづくりの推進の一環として、「図書館」「生涯学習支援」「青少年活動支援」「市民活動支援」の4つの機能を併せ持った施設です。子どもたちからお年寄りまでが交流する「場」として、地域社会の活性化を深める新しい公共施設を目指しています。
・緑に囲まれたこの施設は、周辺環境に配慮し、公園や道を歩く人々にも心地よさを提供するとともに、屋上緑化や雨水利用などさまざまな工夫を行っています。

- 4F ワークテラス
- 3F ワークラウンジ
- 2F コミュニケーションライブラリー
- 1F パークラウンジ
- B1F メインライブラリー
- B2F ティーンズスタジオ
- B3F 駐車場



隣接ふれあい広場公園

（出典・参考）文部科学省ホームページ（一部加工）

●図書館 ●青少年活動支援 ●生涯学習支援 ●市民活動支援

別冊の「市民アンケート調査票」にご記入をお願いいたします。

